

県南家保だより



平成26年6月2日
栃木県県南家畜保健衛生所

じめじめ雨の季節になってきましたね。実は、夏本番の8月と並んで梅雨の晴れ間や梅雨明け直後も熱中症で救急搬送される人が多いんです！みなさん御存知でしたか？

私たちは汗をかいて体温調節できますが、鶏や豚は汗腺が退化してしまい汗をかけないため、暑さがとても苦手です。牛には少し汗腺がありますが、ごく限られた場所だけであるため、もちろん暑さは苦手ですし、特に肥育牛は厚い皮下脂肪にも覆われていますから、簡単に夏バテ状態に陥ってしまうのは容易に想像できます。

それでは、どんなことに気を付けて家畜を夏の暑さから守っていけばよいのでしょうか？これまでの夏を一緒に振り返って考えていきましょう！



家畜は暑さに弱いんだね。具体的にはどうなるの？

家畜に汗腺が少ないことは説明しましたね。実は、犬もそうです。お散歩から帰った犬はどんな状況でしょうか？ハアハアと口を開けて、浅く速い呼吸をしていますね。これは、パンティングと言って口内の水分を蒸発させて、身体の熱を下げようとする行動です。

家畜も暑くなると、体内にこもった熱を下げるためにパンティングをするようになります。また、私たちの夏バテと同じように食欲不振になったりします。その他にも、繁殖障害が出たり、家畜は自分でエアコンや扇風機をつけられませんかから、ひどいときには死んでしまうこともあります。こうなってしまうと、経済的損失は多大なものになってしまいます。

特に、もともと体調が悪い家畜や体力のない子牛や子豚、産後などで身動きがとれない家畜等は、そのリスクが高まりますので、より注意が必要です。

「いつもとちょっと違う」家畜のサインを見逃さないでくださいね。

毛を刈ってくれば
涼しいんですけど…



どんなことに気を付ければ、
少しは涼しくなるのかな？

まずは、“自分が暑いとき、どうするか？”を考えてみてください。風が流れるようにする、日陰をつくる、水分をこまめに補給する、混雑した野外は避ける、白い服を着る、打ち水をする等々。きっと、皆さん知らず知らずのうちに対策をしているはずですよ。

ぜひ、これらの家畜に置き換えて対応してみてください！

畜舎の換気を良くする、扇風機をまわす、よしず等の日除けを設置する、ウォーターカップ等の飲水器を清潔に保つ、飼養密度を下げる、畜舎の屋根を石灰等の散布により白くして

熱を反射させる、細霧システムを利用して畜舎内温度を下げる…、これだけでもたくさんの対策が見えてきましたね。

さらに細かい畜種別の対策や質問等につきましては、県南家保までお気軽にお問い合わせください！



大変だ！熱射病になってるよ！どうしよう…。

たくさんの電解質と水分を失っているために、多くの場合が、肝臓や腎臓等の体内組織にダメージを受けています。畜種によっては対応が難しい場合もありますが、まずは、獣医さんに相談してくださいね。

さて、獣医さんを待っている間に、私たちができること。その一つ目は、とにかく水分を補給させること。二つ目は、身体を冷やしてあげること。

体温調節ができなくなると、生命が危ぶまれます。水に濡れてもよい場所（日陰ならなおよし）に移動させて、扇風機等の風をあて、水をかけて冷やしてあげましょう！蹄から足を冷やしてやり、次に頸の両側に、その後徐々に頸部から胸部に水をかけていきます。家畜は、身体が大きいですから、私たちが思っているよりも冷えません。水道直結のホースで勢いよく放水し、皮膚の深部まで浸み込むようにじっくりとかけてあげましょう。

牛の場合、20分くらいかけると牛は反芻を始め、40℃以上あった体温は39.5℃位まで低下します。水をかける時間帯は日が沈んでからが良いですが、重症の熱射病の牛に対しては、発見後、直ちに実行してください（参考文献：臨床獣医 2012年7月号）。



平成 25 年度における県内暑熱被害状況（7月～9月）



（被害額単位：千円）

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
頭数	被害額	頭数	被害額	頭数	被害額	羽数	被害額	羽数	被害額
65	21,255	13	4,768	0	0	12,169	11,042	2,970	89

夏の暑さのために、廃用になったり、死んでしまった家畜の頭羽数だよ。対策できることから、ちゃんと防いであげてね。



栃木県県南家畜保健衛生所

〒328-0002 栃木県栃木市惣社町 1439-20

TEL：0282-27-3611 FAX：0282-27-4144